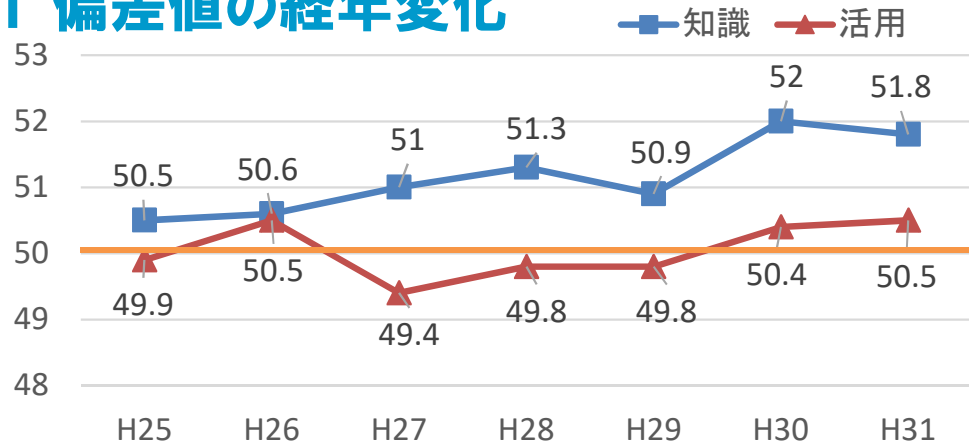


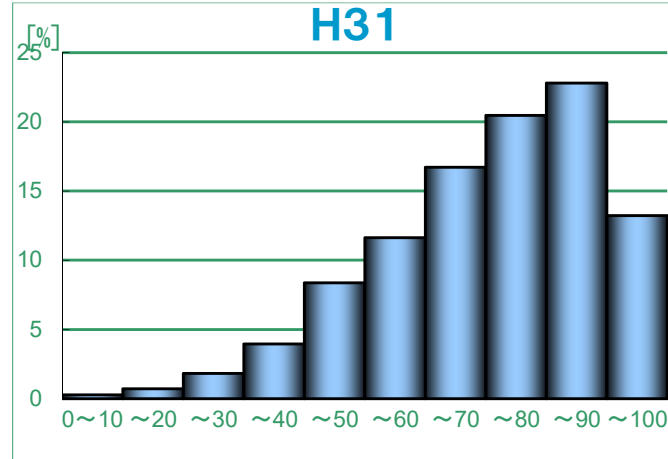
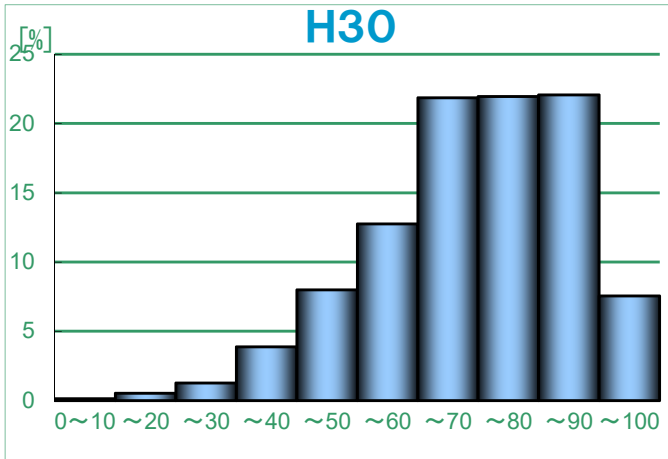
結果のポイント

1 偏差値の経年変化



- 知識・活用ともに偏差値は50を上回る状態を維持している。
- ▲知識に比べ、活用の偏差値が低い状況が続いている。

4 正答率度数分布の変化



2 領域別の結果

領域	正答率	目標値	偏差値
話すこと・聞くこと	69.7	64.0	50.7
書くこと	76.1	65.7	51.8
読むこと	51.9	49.3	50.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.6	70.4	51.4

- H30では読むことの偏差値が49.8であったが、全ての領域で偏差値50を上回った。
- ▲領域別の達成率(目標値を超えた人数の割合)は「書くこと」を除き、70%に達していない。

観点別の結果

観点	正答率	目標値	偏差値
話す・聞く能力	70.1	64.2	50.7
書く能力	74.5	64.7	51.7
読む能力	54.1	50.9	50.5
言語についての知識・理解・技能	77.6	70.2	51.5

- 全ての観点において偏差値50を上回っている。
- ▲「読むこと」の達成率が60%を下回っており、課題がある。

- 低学力層の割合が低い。
- 正答率61~80%の生徒が減少し、90%以上の生徒が増加している。

■ 課題が見られた問題と指導の改善

1 正答率が低かった問題

大問4(2)(正答率32.7%・目標値35.0%)

文章の構成や展開をとらえる問題

▲文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、内容を把握する力が身に付いていない。

大問5(2)(正答率34.8%・目標値40.0%)

登場人物の心情をとらえる問題

▲場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する力が身に付いていない。

指導の改善

○段落の役割に着目させ、文章の内容をとらえさせるような学習を仕組む。

(例)文章全体の中で、それぞれの段落はどのような役割をもっているか。

・話題提示、問い、答え、例示、引用、まとめ 等

(例)登場人物が○○したのはどのような理由からか。

・言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、視点を定めて読ませる。

2 無解答率が高かった問題

大問2(2)②(正答率55.1%・無解答率17.9%)

大問2(2)③(正答率46.7%・無解答率28.0%)

小学校学習した漢字を書く問題 ②均等 ③拝(む)

大問6(2)(正答率63.5% 無解答率18.2%)

材料を分類して整理した上で、文章の構成について意見を述べる問題

指導の改善

○漢字を文や文章の中で使い慣れるように指導を工夫する。

・字体、や意味、用法などの知識を得させ、文脈に即して漢字を書くように意識させる。

○文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを書かせるような学習を仕組む。

(例)筆者は自分の考えを述べるためにどのような工夫をしているか。

・文章の構成や展開、表現の特徴をとらえさせる。

(例)筆者の表現の工夫についてどう考えたか。

・わかりやすさ、図表の役割 等